

会議録

1 附属機関の名称

令和6年度第1回犬山市産業振興会議

2 開催日時

令和6年8月23日（金）16時00分から17時30分まで

3 開催場所

市役所202・203会議室

4 出席した者の氏名

- (1) 委員 井内尚樹、長尾亨、内田信也、松田昇平、奥村好樹、吉田英美、
林龍春、渡辺英明、大黒光一、梅田千里、細江英明（順不同・敬称略）
- (2) 事務局 新原経済環境部長、山崎産業課長、阪下産業課課長補佐
鈴山産業課主査補、宮田産業課主査補

5 次第

- (1) 会長挨拶
- (2) 新委員自己紹介
- (3) 報告事項
犬山市の産業振興等に関する事業について
令和5年度の報告及び令和6年度の状況（資料1-1～1-3）
- (4) 議事
産業施策にかかる調査の実施について（資料2-1）
- (5) その他
- (6) 閉会

【資料】

委員名簿

- （資料1-1）犬山市中小企業支援補助制度一覧（令和5年度実績）
- （資料1-2）令和6年度7月末時点補助金申請状況
- （資料1-3）犬山市産業振興補助金利用状況の推移

(資料 2－1) 産業施策にかかる調査の実施について

(参考資料 1) 犬山市産業振興基本条例

(参考資料 2) 犬山市産業振興会議規則

(参考資料 3) 令和 6 年度犬山市の農業施策チラシ

6 内容

	(1) 会長挨拶
事務局	本日は、ご多用の中、ご出席賜りまして誠にありがとうございます。ただいまから、令和6年度第1回犬山市産業振興会議を始めさせていただきます。産業課長の山崎です。よろしくお願いします。はじめに、今年度より人事異動で経済環境部長に就任しました新原よりご挨拶申し上げます。
新原部長	今年の4月から経済環境部長として配属されました新原と申します。20年くらい前には農林商工課という名前の部署であった頃に、産業系の仕事もさせていただいていたと思います。それから色々と時代が変わって、コロナのパンデミックも経て今に至っているというところですが、その中でこの産業振興会議という存在は、市にとって非常にありがたい存在であると思っております。補助金等の検討をしていただき、令和4年度には産業振興補助金の額の改定も行ったと聞いております。今回この報告の中にも出てくるかと思いますが、この色々と検討いただいている補助金について、どのようにPRしていくか、どう検証していくかが課題だと思います。そういった所も含めて、皆さまた色々と提案頂きたいと思います。本日はよろしくお願いします。
事務局	ありがとうございます。また、事務局となります産業課にも一部人事異動がありましたので、自己紹介をさせていただきます。
阪下補佐	4月から産業課に配属されました課長補佐の阪下と申します。以前は市長の秘書を7年間しておりました。今後はこの産業という分野で頑張っていきたいと思います。よろしくお願いします。
鈴山	4月から産業課に配属されました鈴山と申します。前は児童手当の支給等に携わる部署にいました。全く異なる部署となりますので、今後ともよろしくお願いいたします。
事務局	私は2年目で昨年度から引き続きになりますので、よろしくお願いします。この産業振興会議については、ご出席されてる方々は2年目ということでご存じかと思いますが、参考資料1・参考資料2として配付させていただきました、産業振興基本条例及び産業振興会議規則に基づいて産業振興に関する施策の検証充実を図るため設置されたものであり、今年度で6年目になります。委員の皆様には、任期の2年目となりますので、昨年度と引き続きよろしくお願いします。また昨年度は新規事業についての検討や、皆様から、初回

の会議でたくさんのご意見をいただきまして、本来年2回を目途にしているところ、3回の会議にご協力いただきまして誠にありがとうございました。今年度は目安である2回の開催を予定しておりますが、回数の変更が生じた場合にはよろしくお願ひしたいと思ひます。

それでは、本日の会議につきまして、お手元の次第に沿って進めて参りたいと思ひます。概ね1時間半程度を予定しておりますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。まずは、昨年度に引き続き会長を務めていただきます井内会長にご挨拶いただきたいと思ひます。

井内会長

皆さん、本日は非常に暑い中お集まりいただきありがとうございます。昨日まで学生を連れてフィールドワークに行っておりました。脱炭素の先行地域を周るということで、岡山の山間部や神戸とか淡路島を周ってきました。再生可能エネルギーの先端地域でもあり木材が非常に豊かな地域でありまして、工業も栄えている地域になりますが、そこで脱炭素の紹介を高校生がY o u T u b eで動画を作ってやっていました。自分の地域にはこういう良いものがあるということアピールすることで、自分も将来帰ってきたいと思うような取組みだそうです。高校生に非常に力入れてるなというように思ひました。また、淡路島の洲本市では、地元の龍谷大学と行政が連携をして、日本一多いため池を利用して、そこにフロートソーラーパネルを設置する事業を実施しているとのこと。非常に新しい動きであるし、大学と行政が連携している良い動きであると感じました。また、大阪工業大学の学生が島に来て、古民家を自分たちで改修して、その改修をした学生が卒業して移住してくるということもあるそうです。この会議でも犬山市で創業するのであれば移住費用を少し出してということをやっているかと思ひますが、学生時代から付き合っ、後に移住してきてもらうという移住促進の方法もあるのかと感心しました。まだまだ私どももアンテナを張り巡らして、産業政策を作っていかなければと思っ、帰ってきた次第です。今後とも皆さん、犬山市の中小企業並びに、それぞれの産業の育成に向けて、ご議論をお願ひしたいと思ひます。

事務局

ありがとうございます。この会議は公開で開催されます。また、撮影や録音についての定めのない会議の運営に関することは会長が定めることとなっております。現在傍聴人はおりませんが、撮影録音について取り扱いを決めていただきたいと思ひます。井内会長お願ひします。

井内会長

会議中の傍聴人については、進行に支障をきたさないよう、自席からの撮影とし、録音については、録音した音源を公開するなどの行為はしない。あくま

でも個人としてのメモとして利用する場合に限り許可するとさせていただきます
たいと考えますが、ご異議ございませんでしょうか。

一同

異議なし。

井内会長

ありがとうございます。では、そのように進めていきたいと思います。

(2) 新委員自己紹介

事務局

ありがとうございます。それではまず新委員の委嘱ということで、金融機関
の関係者として、金融懇話会の幹事をお願いしております。昨年度は名古屋銀
行犬山支店の原田支店長でしたが、幹事の交代に伴い、今年度より東濃信用金
庫犬山支店の渡辺支店長に委員をお願いすることとなりました。委嘱状につい
ては、本来市長からお渡しするべきところですが、時間の都合上、お手元に配
布させて頂いております。ご確認の上、ご査収いただきますようお願いします。
渡辺委員から一言ご挨拶をお願いします。

渡辺委員

東濃信用金庫の渡辺です。よろしくお願いします。

事務局

ありがとうございます。続いて、先日送付させていただきました資料の確認
をさせていただきますと思います。

(資料の確認)

事務局

本日は、委員総数 11 名に対し出席委員 11 名全員の出席となっております。
会議を開催するにあたり、委員の過半数にご出席いただいておりますので、
「会議規則」第 4 条第 3 項の規定により、会議は成立いたしましたことをご報
告いたします。会議の内容については、後日、資料と会議録をホームページで
公開する予定となっておりますので、あらかじめご了承ください。会議録につ
きましては、2 人の委員が署名することとなっております。前回までの方法に
ならって、名簿順ということになるのですが、前回の会議で欠席された委員が
いらっしゃった関係で、順番が前後して申し訳ありませんが、本日の会議録は、
松田委員と吉田委員にご署名いただくこととなりますので、よろしくお願いします。
それでは、会議に移りたいと思います。会議規則第 4 条第 2 項の規定に
基づき、会議の進行につきましては、井内会長をお願いしたいと思います。よ
ろしくお願いいたします。

井内会長	それでは、会議を進めさせていただきます。報告事項 犬山市の産業振興に関する事業について、事務局より報告をお願いします。
事務局	(3) 報告事項 犬山市の産業振興等に関する事業について 令和5年度の報告及び令和6年度の状況（資料1－1～1－3） 【事務局より資料1－1～1－3を用いて説明】
井内会長	○質問・意見等 ただ今、説明ありました事業実績について、ご質問やご意見があればお願いしたいのですが、林委員いかがでしょうか。
林委員	特に産業振興補助金ですが、前年、前々年から比較しても数字が上がっているの、これまでの施策が有効なものとして機能しているのかと思いますが、ただ我々のような零細企業ではなかなかハードルの高い補助であることも事実であり、そういったところにも日の当たるような政策となるともっと良いのかなと思います。
井内会長	どうしても大きな予算の話ではないので、出来ることに限りがある中でそういった零細企業にも手が差し出せるようにするにはどうすれば良いのかということで、なかなか我々も図りかねている所になります。皆様からもこういった政策なら細かいところまで手が届くのかと意見をいただければと思っています。今回初参加となりますが渡辺委員からも特に金融関係ということでコロナ融資も終わっていくなかで、企業はまだまだ融資を求めているのか等お話しいただければと思いますがいかがでしょうか。
渡辺委員	製造業の方に話を聞くと、大きな企業からの注文は入ってきているものの、ロシア・ウクライナの関係もあり、物価の高騰や、そもそも原材料が入っていないということもあるようです。我々も融資のお話を聞くのですが、なかなか難しいお客様もいてもどかしい思いをしています。市や県でやっていた補助金も周知していますが、実際には機会を逃してしまいそのまま申請をし損ねてしまうといった事例もあります。融資ができない中で、金融機関にできることとして、補助金の計画書のお手伝いなどもしておりますが、そもそもの制度がないとお手伝いもできないところになりますので、我々も一体となって事業に取り組んでいきたいと思っています。

井内会長	貴重なご意見ありがとうございます。では、大黒先生からこの報告についてのご意見等はいかがでしょうか。
大黒委員	今は採用の仕組み自体がすごいスピードで変化しているなど感じております。イベント関係がどんどん中止になっています。合同説明会のようないわゆる就職フェアへの支援をしていただいておりますが、そのイベント自体が減っているのも、今後支援件数もなかなか伸びないのではないかと思います。また、昨年度会議で出てきた意見から採用された、オファー型サイトへの補助ですが、このオファー型サイトの利用も減りつつあるようです。では、どこが主戦場になっているかというと、人材紹介会社による新卒斡旋がすごい勢いで加速しております。学生からすると、何もしなくても履歴書を書いてもらえて就職につながるような仕組みになっており、そういった業態が加速しているため、なかなかこの雇用に対する補助は増えないのかなと思います。本学でも2月に学内の就職説明会を実施しましたが、学生の参加は前年の半分以上といったような状況でした。このように2月3月にイベントを実施しても人が集まらない状況で、イベント会社としても集客できないのでイベント自体をやめてしまうということになっているので、この雇用に対する支援に関しては実績を伸ばしていくという点で考えると、少し変えていく必要があるのかなと感じています。
井内会長	ありがとうございます。今年度から実施している就職情報サイトに関する補助については、今回作成したチラシを見て応募されたということですか。
事務局	その通りです。
井内会長	5万円でも使いたいと事業者がいるということでそこは良かったのかなと思います。では、細江委員からいかがでしょうか。
細江委員	犬山市では多様な補助メニューを用意されて、活用されている事業者も増えてきているということで良いのかなとは思いますが。コロナ明けに国から出た事業再構築補助金などもそうですが、現在は自助努力を重視しており、自助努力されている所に手を差し伸べるような補助がされていると感じています。一方で、小規模零細企業に関しては自助努力も難しいようなレベルだけど、頑張っている、或いは頑張る意向がある企業も存在しています。犬山市の中でもトップランナーとして頑張っている企業を手厚く後押しする施策と、小さくても努力している小規模企業を引っ張り上げる施策とそれぞれあると良いのかと思

います。特に、国や県の制度は、どうしても小規模向けの施策というのは欠けている場合が多く、犬山市においては例えば人材育成や確保に向けたものや、小規模な設備投資など、そういったところにも行き届くような施策を強化して頂きたいと思います。また、周知方法についても、アンテナを高くしている方はどこかでこういった情報を掴んで利用されるのですが、どうしてもそうでない事業者は補助金が使えぬ取り組みをしているのに知らずに逃してしまうということもありますので、ホームページや広報などでの周知方法についても強化策というのはまだまだあるのではと思っています。

井内会長

ありがとうございます。それではその他の方はいかがでしょうか。

奥村委員

一点よろしいでしょうか。産業振興補助金の雇用促進として、常用雇用者として市内の方を雇用していると補助金がもらえるというものがあるかと思いますが、会議所の会員で提出期限が雇用から２年以内というのを知らず逃してしまったという事例がありました。そういった意味では細江委員からもあったように、周知方法については検討していく必要があるのかと思います。

井内会長

私からも少し聞きたいのですが、これまでほとんど無かった雇用促進についての申請が３件あるようですが、これは既に交付されてるのですか。また、急に増えた要因等は何かありますか。

事務局

この３件については既に交付が終わっています。要因としてはやはりチラシを改修して目に留まりやすくなったことがあるのかなと思っています。特に商工会議所ではチラシを置くだけでなく、入口に貼って頂いたりしてより視認性が上がり利用が増えているのではないかと考えています。

井内会長

分かりました。それから事業継続支援補助金についてもお聞きしたいのですが、昨年度は利用が１９件あって今年度は３件ということでかなり減りそうなのでしょうか。

事務局

事業継続補助金については市が委託している中小企業診断士の先生と経営計画の策定に向けて打ち合わせをしていただき、計画に沿った設備投資や専門家支援について交付申請いただく流れになりますが、現状２６件が計画策定に向けた打ち合わせをしていただいている所になります。そのうち交付申請までされているのは３件ですが、残りの２３件は今後交付申請される見込みがありますし、今後も相談される案件もあるかと思っていますので、昨年度と同等、むしろ

ろそれ以上になるのではないかと思います。実際に相談されている件数に関しては、昨年度の同時期よりも多い件数が相談されて計画策定中となっています。

内田委員

今年度から始まった創業支援については6件の相談があり、2件の申請がされているとのことですが、こういった評価をされていて、どのくらいを目標にされているのでしょうか。

事務局

こちら事業継続支援補助金と同様で、申請されていない4件については中小企業診断士の先生と創業計画の策定中になります。実際に4件についても申請まで至るかは分かりませんが、ここまでの件数は当初の想定以上のものになります。令和6年度についてはもしかしたら用意していた予算以上の申請があるかもしれないという思いでいますが、そうしていかないとなかなか予算も増やせないところになりますので、今後も周知を図ってだんだん浸透していくと良いのかなと思っています。

井内会長

分かりました。5年度に比べてそれぞれの補助制度で増えている部分が多く頑張ってもらえているという評価になるかと思います。ただ、やはり人材確保の部分では件数は少なく、もう少し工夫がいる部分もあるのかなと思いますし、PR方法についても検討はいるのかなと思います。国については従業員2,000人以上を対象とする、中堅企業規定というものを作り、そういった企業をメインに相手にしていくといった所になりますので、細江委員からもありましたが、市としては小規模企業や零細企業など、地域に根差した企業を引っ張て行くような補助があると良いのではと考えています。他にはいかがでしょうか。

長尾委員

一点だけ、良いでしょうか。農業の支援についてお伺いしたいと思います。新規就農補助金という補助が昨年度に比べて4倍に増えているということですが、これはこれだけの農業者が増えたということでしょうか。

事務局

この新規就農支援補助金は、これも市の独自事業になります。先ほど長尾委員が言われた認定新規就農者というのは、市が認定した農業者で国の施策が受けられるものになりますが、そこに至らない方でも市の独自の計画を策定してもらうことで補助を受けられるといった制度になります。こちら少しずつ周知がされており、令和5年度は多くの方に使っていただけたというところになります。

事務局	(4) 議事 産業施策にかかる調査の実施について 【事務局より資料２－１を用いて説明】
井内会長	条例にもあります、犬山市の中小企業向けの産業施策を検証するうえでは、企業の実態を掴むことが大切で、今はその掴む材料がないということで、アンケート調査を実施していきたいということです。補助を受けた３３社は割と容易にできると思いますが、補助制度を使っていない事業者はどうやって答えてもらうかはなかなか大変なアンケートになるかと思います。１９７９年には東京の墨田区で全事業所調査ということで立ち入り調査をしたと記憶しておりますが、立ち入り調査のような事をするわけではなく、事業者アンケートを取っていくとのこと。これはアンケート方法としては広報や会議所だよりとありますが、そこにアンケート用紙を挿むのでしょうか。
事務局	今回はウェブでのアンケート調査を実施予定です。広報や会議所だよりにＱＲコードを記載して、それに回答して頂く形を想定しています。また、商工会議所でも小規模事業者地域経済動向調査というものを令和３年度に実施して頂いているのですが、経済動向調査という大々的な調査ではなく施策を展開するうえでのニーズ把握やニーズの掘り起こしができれば良いなと思っています。特にどのくらいの数をという目標値を設けているわけではありませんが、アンテナが高い人たちのメッセージを受けられたらと思っています。
井内会長	広報や会議所だよりにＱＲコードを載せるということですが、この方法で全事業所を網羅できるのでしょうか。会議所の会員は会議所だよりがあるので良いかと思いますが、同友会や民商さんはいかがでしょう。
内田委員	基本的に広報に載せてもらえれば問題ないと思う。ＱＲコードでの調査であれば、やろうと思えばすぐに簡単にできるし、集計も容易になるだろうから良いと思う。後はどれだけの人を回答させる気にできるかという所になるかが難しいところかなと思います。
林委員	広報に載せるのであれば問題ないと思う。民商でもアンケート調査をしたりするが、どれだけ良くても４割程度の回答率になります。事業者によっては手紙で送っても見向きもしない人もいるが、補助金などお金がもらえるというような話になると多少は食いついてもらえるかと思う。ただし、金額の問題はあると思う。１００万円の補助となるとかなり食いつきは良くなるが、３万円５

	万円となると、なかなか難しいところもある。どうしてもアンテナが高い人、やる気がある人は回答するし、しない人はしないとなるのは、しょうがないかと思う。
井内会長	やはり質問の項目が大切になってくるかと思う。産業振興会議の中でやられるということで、中小企業各業種はもちろんですが、観光業や農業の方からも集められる、答えられるような内容になると良いのかと思います。各分野の方が集まっていられるので、その内容についても随時相談していただければと思います。
奥村委員	商工会議所の今年度の事業に経営発達支援事業の一環として、少し難しい調査をする予定をしています。その調査との連動をさせる予定はないでしょうか。
事務局	会議所でやられる調査はかなり詳細なデータを集めることを目的とした調査となるため、今回は別での実施を予定しています。
奥村委員	承知しました。どうしても事業者さんからするとアンケートが負担になってしまう可能性もあるので、一度会議所の相談所とも話をして頂けると良いかと思います。経済センサスの情報からになりますが、犬山市内の企業は2, 192でそのうち1, 500弱が会議所の会員になって頂いています。30%以上は会員以外となるので、そちらも網羅するようなアンケートということで良いのではないかと思います。
松田委員	一点お伺いしたいのですが、過去にこう言った事業所向けの調査はしたことがあるのでしょうか。また、もししているのであれば、これまでの補助メニューはその結果をもとに作られたものでしょうか。
事務局	こういった調査を行政として実施した実績はありません。犬山市独自の施策としては、産業振興補助金や事業継続支援補助金、創業支援補助金がありますが、産業振興補助金についてはこの産業振興会議で内容を精査してもらい作った物で、事業継続支援補助金や創業支援補助金については市の施策として作った補助金になります。そのため、調査の結果を踏まえて作った補助等はこれまではないものとなります。
松田委員	分かりました。ニーズを調査して補助メニューを検討していくということ

で、非常にチャレンジングな良い取り組みであると思います。既に多様なメニューがあるかと思いますが、さらに事業者に寄り添って意向を聞いてということで、是非実現して頂ければと思います。

井内会長

皆さま色々な意見をありがとうございます。これはスケジュール感としてはどのようになるのでしょうか。

事務局

次回の会議は翌年２月となる予定なので、それまでにアンケート調査が終わり、その結果の共有と検証を次回できればというように思っています。ただ、アンケートの内容については、まだ検討中ということもありますし、会議所が調査をされるということもありますので、そこと連動させながら必要な部分については皆さまにもご意見いただくということを考えています。よろしくお願いいたします。

井内会長

会議所と連動するのは良いと思います。あとはそこに入っていない小さな部分や農業者等の業種までアンケート取ればほぼ市内を網羅できて良いと思います。非常にチャレンジングで意義のある取り組みだと思いますので、皆さまからの支援も是非いただきたいと思います。

(５) その他

井内会長

それでは最後に、今年度も事前にアンケートをさせていただきました内容について、皆さまから補足等少しお話しいただければと思います。時間の都合もあり、今回は意見として頂き、必要なものについては今後討論していくということにしたいと思います。

奥村委員

今回会議所として書かせていただいた取り組みとして、桃太郎プロジェクトというものをやっています。これは市の桃太郎伝説に出てくる岐阜県の可児市と坂祝町を含めて地域を活性化したいと思い取り組んでおり、今はクラウドファンディングもしております。まだ時間はかかる事業にはなるかと思いますが、地域活性化の一助になればと思っています。それから経営発達支援事業ということで、５年計画の３期目となる事業で、中小企業庁の補助金をもらいながら実施しています。先ほどの議事でもありましたが、アンケート調査も予定しています。また、経営改善に向けた伴走支援ということで、経営指導員が３人で当たっているのですが、どうしてもそれ以上の相談者が来る場合は対応できないということがあります。そういったところで市の方にもたくさんの相談

窓口を準備いただいているので、広く相談を受けられると良いのかなと思って
います。最後に、補助メニューとして様々なものを準備いただいているが、
事業所でよく聞く困っている所が、暑さ対策に非常に困っていると聞きます。
昔は暑ければ暑いほど売れる商品等もあったようですが、暑くてもなかなか売
れないで在庫を持ってしまいうや、暑さ対策として設備投資するのに費用がかさ
むといった事例があるようです。

井内会長

ありがとうございます。続いて吉田委員いかがでしょうか。

吉田委員

会議所の取組みとしては奥村委員と同じになるのですが、私は別の女性目線
で少し意見を書かせてもらいました。よく女性の経営者ということで声をかけ
ていただく事があり、女性の経営者を集めて欲しいと言われることがあるので
すが、なかなか女性の経営者は多くありません。ただ、女性でもやりたいと思
っている方や、実際に小さいけど会社をやっているという方はたくさんいるの
かなと思います。そういった方を育てるような取り組みができないかなと思い
ます。女性を応援できるような補助金を用意していただくことや、女性の経営
者を集めてセミナーを開くなどができるの良いのかなと思います。女性でも分
からないことを気軽に聞けるような場があると良いかなと思います。

井内会長

ありがとうございます。では、林委員お願いします。

林委員

民商の会員でも60歳以上の経営者が過半数を超えています。そういった高
齢の経営者はなかなか新たな取り組みをしようとしなくて、市がやっている補
助金の対象には当てはまらないというのが現実にあります。若い経営者も当然
いますので、そういった方に道を作ってもらって、せっかく良いメニューがあ
るので使ってもらえればと思います。ただ、そういった高齢零細企業が支えて
いる中小企業もありますので、今後そういった企業の経営が成り立たなくなっ
てしまった時、大企業をはじめ経済全体に影響してしまう可能性もありますの
で、そういった零細企業にも光が当たるような政策を考えていきたいし、お願
いしたいところになります。

井内会長

ありがとうございます。続いて渡辺委員お願いします。

渡辺委員

林委員からもありましたが、経営者はどんどんと高齢化しております。80
代の方でもまだやれると言って、相談に来る方もいます。一方で、50代半ば
の方がこれからは自分の時間が欲しいので縮小していきたいという方もござ

います。それぞれニーズが全く違うものになるのですが、我々としてはお客様のニーズに合わせた取り組みができないかと考えています。例えば人気店の中小企業の方が、お店は続けたいけど自分が続けていくのは難しいという場合があります。そういった場合、会議所とも連携していますが後継ぎ創業という制度で若い方で創業したい方に紹介する橋渡しするような取り組みをしています。様々なニーズに対応するために、市や会議所の助けを借りながら対応していきたいと考えていますので、ご協力いただければと思います。

井内会長

ありがとうございます。では、長尾委員よろしく申し上げます。

長尾委員

愛知北農協の取り組みについて紹介させていただきます。今羽黒に大きなライスセンターの建設に向けて動いています。竣工は令和8年の3月を予定しています。犬山市で建設するにあたっては市のご協力をいただく事にもなりますのでよろしくお願いします。このライスセンターを建てるにあたって中の設備を含めると20億円以上の費用が掛かります。それでも採算が合うのかというと正直マイナスになります。それでも農協としては農業振興ということで、地域に何百人という農家を守るためにも建てていくということになりますので、国県はもちろんですが、市にも色々なご協力をいただければと思います。また、もう一つ別件で、名古屋経済大学と連携協定を結んで6次化商品の開発もしています。来年頃には協力して開発した商品を打ち出して行けたらと思います。最後に、皆さんご存知かと思いますが、今年お米の値段が非常に上がります。愛知県産のコシヒカリで一番等級が良いものだと一俵18,000と昨年度よりも6,000円程高くなるとのことでした。これは消費者としては耳の痛い話となりますが、農家さんはこれまでものすごく安いお金でお米を作っていたということで適正に近づけているということになります。以上です。

井内会長

ありがとうございます。それでは、内田委員いかがでしょうか。

内田委員

同友会の取り組みについては、結果をお読みいただければと思います。産業振興に対する意見としては、せっかく犬山市に名古屋経済大学がありますので、一度学生目線での市の施策がどうだとか、どういった企業に就職したいと考えているのかについて意見を聴収してはいかがかと思います。住みたいまち、働きたいまちはどういったものなのかを探れるのかと思います。もう一つ、自社の事になりますが、運送業では2024年問題で人手不足労働者不足に非常に頭を抱えています。ドライバー不足は近々の課題で、こういった所にも目を向けた取り組みをして頂ければと思います。

井内会長

ありがとうございます。次に松田委員お願いします。

松田委員

観光の立場からですが、犬山市観光戦略の目標にもあるように観光の産業化を目指して事業に取り組んでいます。特に今はインバウンド消費の向上に取り組んでいます。犬山城へ来る方にも外国人は増加していますし、犬山に宿泊される外国人が昨年度13,000人であったのが、今年度は6月末の時点で17,000人を超えています。インバウンド消費を増やすことで、観光消費を高めていきたいと考えています。また、今後の提案になりますが、城下町の店舗は今も増えているんですが、その多くは市外在住者であり、結果としては市内の消費が市外に流れてしまっており、経済効果は薄くなってしまっています。本来であれば、市内の産品を使ってもらえることができると良いのですが、なかなかそういった「しくみ」にはなっていないのが課題かなと思います。また、今は城下町に組合もないのでバラバラに経営しているような形になっているので、行政や観光協会が主導して緩やかな共同体のようなものが作れると良いのかなと思っています。その際にはご協力をお願いします。

井内会長

ありがとうございます。では、大黒委員お願いします。

大黒委員

学生が地元に残ってもらうという観点で、今関市や岡崎商工会議所が実施している取り組みの一つに奨学金の返済補助があります。今は非常にお金に困っている学生も多くて、名古屋市だと官公庁でも保育士に就職した場合、3年間務めることで奨学金がすべてタダになる取組みがあるそうです。お金に困っていて、地元に戻るか大学の近くで就職するか迷っている学生が、その制度を理由に地元に残る、あるいは大学の近くで就職するというケースがあるようなので、ご検討いただけると良いのではないかと思います。また、本学のお話になりますが、現1年生では150人の外国人留学生が入学しました。ただ、この留学生のほとんどは犬山市内の企業へは就職せず、名古屋市の企業に就職するというのが現実にあります。この150人が他市に流出してしまうということを考えると、そういった学生を引き留める何か制度があると良いのかなとも思います。

井内会長

ありがとうございます。梅田委員いかがでしょうか。

梅田委員

消費者としてですが、やはり物価の高騰は非常に感じています。農産物等ではできれば地元のものをとも思っていて、旬のものだったりすると地元のもので

も安かったりするんですけど、そうでないものだとやっぱり高く、本当であれば地元に戻元したい気持ちはあるんですが、なかなか消費者としては生活しにくい状況にあるなと感じています。

井内会長

ありがとうございます。最後に細江委員お願いします。

細江委員

アンケートに沿って申し上げます。私自身は仕事が、中小企業診断士となり、経営支援をするのが仕事になりますので、仕事が産業振興のような意味合いになってるわけですが、その中でも経営強化をどうしていくのかという点で、人やお金を使って何を強化していくのが課題となります。今は人の所で人材不足人手不足というのはどの業界でも共通して言われているところになります。その担い手の一つとして、先ほどの大黒委員のお話でもありましたが、外国人の雇用という点に力を入れている部分もあるのかなと思います。自治体においても外国人の雇用に力を入れているところが増えているようです。外国人を雇用するとなると、日本人を雇用するよりも住環境の整備や言葉の問題をケアする取組が必要になり、企業としては負担が増えてしまう部分もありますが、それでも人手不足の解消、さらには質の高い人材を採用できる可能性があるということで、外国人雇用をされている企業さんは非常に前向きに取り組んでいるようです。外国人雇用をはじめられる企業や、外国人とのマッチングを考えている企業向けの支援ができると、まだ先進的ということもありますので、検討いただけると良いのかなと思っています。

井内会長

ありがとうございました。今回書いて頂いた内容、全てではないのですが、ご説明頂けたのかなと思います。今後、皆さまの意見を踏まえて事務局と検討していきたいと思います。以上となります。それでは、進行を事務局にお返しします。

(6) 閉会

事務局

ありがとうございました。今回議論いただきました内容は、先ほど会長からもありましたが、次の会議までに精査して活用していきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。今のところ先ほどもご案内したとおり、翌年2月ごろに、次回開催を予定していますので、その際にはよろしくお願いいたします。それでは改めて、本日はありがとうございました。